

足尾散策の旬の旅情報満載!

「足尾」まち歩き 夏号

日光市役所足尾総合支所観光経済課
〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原1番19号 電話:0288-93-3116 FAX:0288-93-4783
日光市ホームページ <http://www.city.nikko.lg.jp>

足尾には先人達の残してくれた歌(唄)がたくさんあります
その数は50以上にもなります。

特に「足尾の四季」は足尾に住む人々の愛唱歌とも言えるもので
事あるごとに皆で合唱する歌です

正午を知らせる防災無線のメロディーにもこの「足尾の四季」が
使われているのです。

その2番に「夏庚申の菫の音 緑滴る満山に雲紅の夕日影」
とうたわれているとおり、足尾の夏は小滝にあるといえます。
涼しい夏、歴史散策にでかけませんか?

★庚申川に沿って下るコース(小滝の里を中心に)★

① 小滝の索道トンネル

象山の中腹に直角く開いている穴(黒く見える)が索道
トンネルです。明治35(1902)年に小滝の里と金山平を結
ぶときに、じまになつた岩山に穴を開け、索道を通すこと
にしました。穴掘りを苦にしない、足尾金山ならでの産業遺産
です。 ※索道(さくどう): 空中ケーブル、駅-場のリフトのおおむね。

② 小滝の小滝

象山の下のカーブ(象山の大曲り)から川を見ると、小さな
滝が見えます。この滝を「小滝の小滝」といい、この滝が
ら小滝といひ地名がつけられたと、いわれています。
すぐ下の山岳橋からの眺めも最高です。

③ 小滝旧坑口

江戸時代に掘られ放棄されていたが、古河市
兵衛の経営になり再び掘ったところ、わずか30尺(約
9m)で大直利にあたりました。江戸時代1600尺(約
500m)も掘り、あきらんでいたことを考えると、市兵衛の運
の強さを示す出来事といえます。 ※直利(なおり):
銅をたくさん含んだ鉱石が集まっているところ

④ 小滝坑口

昭和29(1954)年まで使われていた小滝のメイン坑
道です。明治18(1885)年の旧坑道取開けから約70
年間、銅を産出し、この地域を支えて来ました。
※取開け(とりあけ): 以前掘っていた所を再び掘ること

⑤ 旧小滝火薬庫跡・削岩機試掘跡

象山の燕岩と呼ばれる大きな岩の
中央にくぼんだところがありますが、これは、
小滝坑内で使う火薬を一時貯蔵していた
ところです。

また、上流部に、たくさん穴が空いていますが
これは、削岩機の試し操作をしたときに空け
た穴です。

湯も宿も おすめ!!	鳥村旅館 0288(93)2218.	小滝散策や 登山おねら せむ泊りた宿
	がじや荘 0288(93)3420.	



⑥ 小滝浴場跡・コンプレッサー室防音壁

坑夫は、坑内作業を終えての帰りに、この浴場で汗と汚れを落
すことを常としていました。お風呂の燃料には、この奥の金山平製錬所
のオガクズを利用しました。資源も有効に利用していたことがわか
ります。

北側の壁は、坑内に空気を送るコンプレッサー室の防音壁です。

⑦ 小滝選鉱所跡

山の斜面を見ると、石積やレンガ積み跡が残っています。
ここには、選鉱所があり、大正9(1920)年に廃止されるまで、人々
による作業が女性によって行われていました。

また上流には、この地域を統轄する事務所もありました。

⑧ 小滝の里

このあたりは、小滝の金山施設が集中する小滝地域の中心で
した。昭和29(1954)年小滝坑が廃止にな
り、全ての施設が撤去されました。

昭和39(1964)年秋に、小滝に住ん
でいた人々が、昔を偲んで記念碑を建て
ました。

現在は、昭和61(1986)年に建て替え
られた二代目の碑と、左隣には、平成
7(1995)年10月建立された歌碑が
あります。

⑨ 中国人捕虜収容所跡(興亜寮跡)

川沿いに石垣が見えますが、そこには、
中国人捕虜収容所がありました。

昭和19(1944)年10月、当時の日本政府
の手により中国各地から257名の入々が足
尾に強制連行され興亜寮と呼ばれていた
施設に収容、小滝坑内外で働いていました。

⑩ 小滝製錬所跡(広道地)

このあたりを「広道地」といい、小滝の製錬所が
ありました。

明治19(1886)年から製錬が行われていま
したが、明治30(1897)年第3回鉱毒予防工
事命令によって廃止されました。

⑪ 小滝小学校跡・新長屋跡

明治23(1890)年創立された小滝小学校は、明治
30(1897)年以降この地に建て替えられ、明治34(
1901)年には、足尾銅山尋常高等小学校小滝分校が
独立、私立小滝尋常高等小学校になりました。

最盛期の明治8(1919)年には、1035人の児童が
学んでいました。

一長屋は、学校に隣接する東側に35棟が建てられ
正式には、古足尾社宅といわれました。

⑫ 畑尾鉱員社宅跡

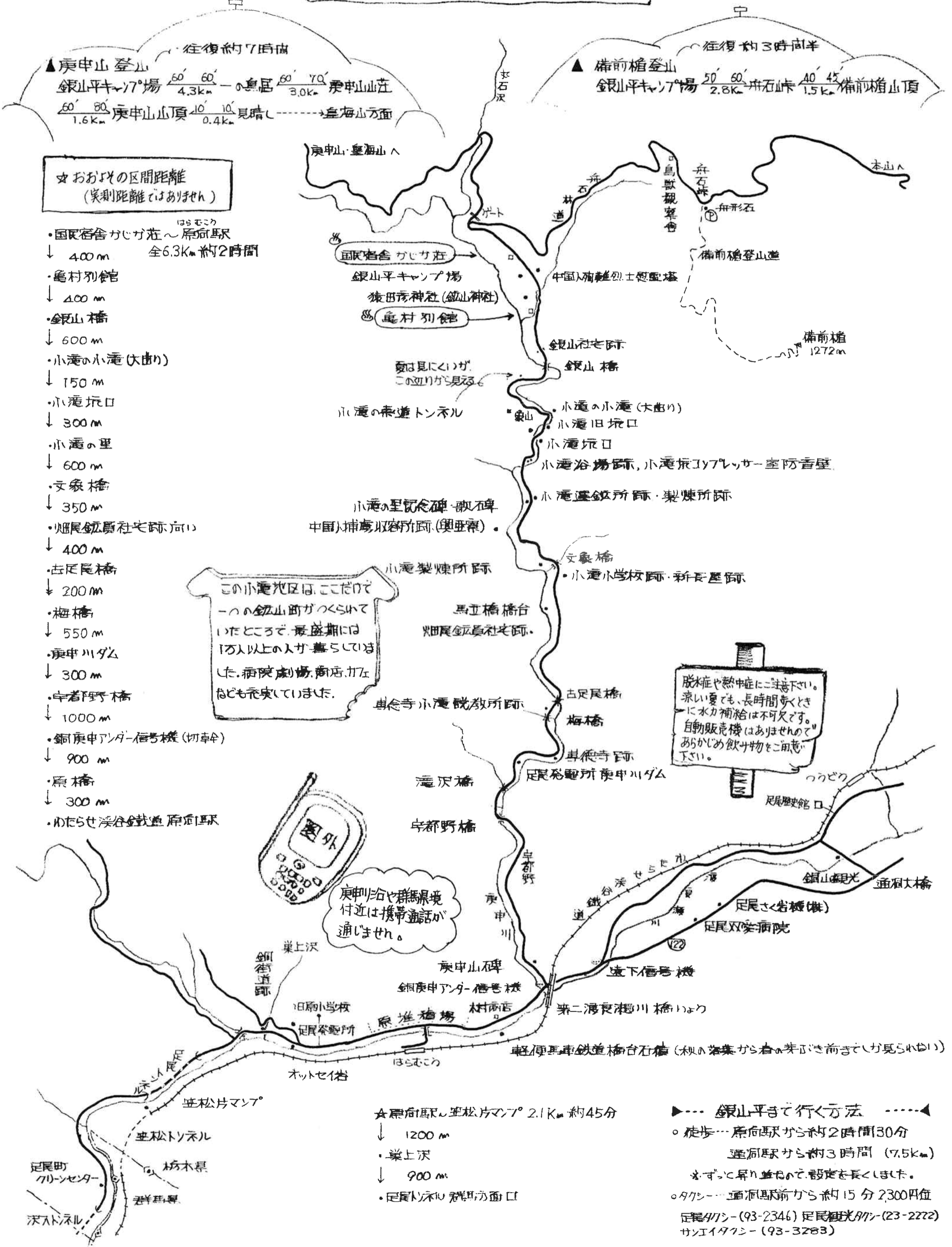
小滝製錬所から出るカラミや廃石などを堆積した
土地に、役宅や鉱夫長屋が建てられました。

上流に馬立橋がかけられており、また、来る発電所も
この付近にありました。

⑬ 文象

このあたりを文象と呼び、明治の終りころから大正の始め
ころには、商店、飲み屋、回り舞合付の劇場として色町もあり、勘
定日には、鉱夫さんで賑わっていたようです。

足尾銅山の産業遺産を訪ねて (小滝編)



☆おおよその区間距離 (実測距離ではありません)

- ・国民宿舎カヒガ荘 ~ 原宿駅
↓ 400m 全6.3km 約2時間
- ・亀村別館
↓ 400m
- ・銀山橋
↓ 600m
- ・小滝の小滝(大出り)
↓ 150m
- ・小滝坑口
↓ 300m
- ・小滝の里
↓ 600m
- ・文象橋
↓ 350m
- ・足尾銅神社宅跡(向い)
↓ 400m
- ・古足尾橋
↓ 200m
- ・梅橋
↓ 550m
- ・庚申川ダム
↓ 300m
- ・宇都野橋
↓ 1000m
- ・銅庚申アンダー信号機(切替)
↓ 900m
- ・原橋
↓ 300m
- ・わたらせ渓谷鉄道原宿駅

この小滝地区は、ここだけで
一丁の銅山町がつくられて
いたところで、最盛期には
1万人以上の人が暮らしてい
ました。病院、劇場、商店、カ
ななども充実していました。

庚申川や群馬県境
付近は携帯電話が
通じません。

脱水症や熱中症にご注意下さい。
暑い夏でも、長時間歩く時
に水補給は不可欠です。
自動販売機はありませんので、
あらかじめ飲み物をご用意
下さい。

- ☆原宿駅 ~ 至松片マンゾ 2.1km 約45分
↓ 1200m
- ・業上沢
↓ 900m
- ・足尾川河口 磯崎方面口

- ▶ 銀山平まで行く方法 ◀
- ・徒歩... 原宿駅から約2時間30分
通源駅から約3時間 (7.5km)
- ※必ずと昇り道で設定を長くしました。
- ・タクシー... 通源駅前から約15分 2,300円位
足尾川タクシー (93-2346) 足尾観光タクシー (23-2272)
サンエイタクシー (93-3283)